

2017~2018 年度マイルストーン・シェブロン・アワード贈呈



在籍 20 年 L.加藤昭



在籍 10 年 L.岡崎頼巳



在籍 30 年 L.坂本公明



在籍 30 年 L.鳴本哲矢



お誕生日おめでとうございます。

10月

- L.浅野 光甫 (S.11.10.1)
- L.枝廣 栄樹 (S.11.10.17)
- L.坂本 公明 (S.24.10.21)



10月18日(水) 第2例会

楽しい月見例会でした。

計画委員会の皆様、ありがとうございました。

発行者 笠岡東ライオンズクラブ
 会長 東川三郎 幹事 岡崎頼巳
 編集 PR委員会・事務局

<http://www.kcv.ne.jp/~khlc/>

E-mail khlc@kcv.ne.jp

ライオンズクラブ国際協会 336-B 6R-1Z

笠岡東



Lions News

2017-2018 年度 第5号



第30回国際平和ポスターコンテスト表彰式

笠岡東ライオンズクラブ スローガン 『郷土の礎に成る奉仕』

地区ガバナー スローガン 『成せばなる We Serve!』

国際会長テーマ 『次なる山を目指して、そしてその向こうへ』
 国際会長 ナレシュ・アガワル (インド)

336-B 地区アクティビティ・スローガン 『未来に繋ぐ 美しき心と地域』

第30回 国際平和ポスター授賞式



10月4日(10月第一例会)に於いて「国際平和ポスター」受賞者の表彰式を受賞者、学校から付添いの先生の参加を頂いて挙行了しました。



最優秀賞受賞者 金光七穂さん
「みなが仲良くできるように笑顔を描きました。本日はありがとうございました。」



小北中学校 蛭田亨校長
「伝統ある笠岡東ライオンズクラブ主催の平和ポスターの栄えある受賞を頂きありがとうございます。小北中学校では生徒の情操教育に力を注いでまいります。」



10月9日(月 体育の日)道の駅特設会場にて献血実施
青少年国際交流保健委員会担当 委員長 L 濱田仁光

笠岡東ライオンズクラブと献血事業 そして献血と私 L 豊池

笠岡東ライオンズクラブは昭和58年(1983年)に献血活動を始めて現在の平成絶えることなく継続して実施しています。

前年の4月に我が笠岡東ライオンズクラブは誕生していますので、設立当初の活動を行って来たこととなります。この事業に携わって来て頂きました歴代のメンバーの協力の積み重ねであると深く敬意を表します。

第1回目の献血者は94名で全員が200cc献血でした。

第五回目から400cc献血が始まり、その年200cc献血者104名、400cc献血者10名、献血に関する環境も過去30年間で大きく変わって来ています。

その一つは現在では400cc献血が主流になったことです。他に成分献血もあり、第1回目の献血者94名から始まり、本年平成29年では171名に成りました。

これは6年前平成24年から献血実施を年2回にしたことも大きな要因です。また、輸入血液が社会問題としてマスコミに取り上げられ、日本全国で自主的献血の意識変化の現れとも関係しているでしょう。

これに伴い献血を求める側の検査基準も変化しています。折角、献血の意思を頂いた方にも体重が軽すぎてご遠慮を願う方、当日の朝食を摂っていないの、臓疾患による薬を毎日服用している方にもお断りしています。

私はかつて二ヵ月から三ヵ月に一回のペースで献血をしていました。自分の体血液が何処かでどなたかのお役に立っていると云う想いはひそかな喜びで、それが数年前に文書で「長らく献血を頂いていましたが、今後は貴方の献血をいう通知がありました。その内容は「かつて肝炎を患った経験が疑わしい。」と「既に現在では日常生活に支障はない状態ですが献血はお断りします。」と記された。肝臓を患った音訊もないし、輸血を受けた経験もない。一体どういう訳なのか